

『近代能楽集』参考資料のご案内

新国立劇場でのご観劇前には作品に対する理解の一助として、
また、観劇後の感動をさらに深めるために、
5階情報センター閲覧室にてご覧いただける参考資料を紹介します。
ぜひお気軽にお立ち寄りください。

過去の公演プログラム

2005/2006 SEASON 屋上庭園／動員挿話 (2005.11) 『動員挿話』深津篤史演出。

参考図書

<戯曲>

三島由紀夫戯曲全集(上・下) 新潮社 1990年発行

三島戯曲全 62 篇を年代順に収録した豪華決定版。『綾の鼓』は上巻、『弱法師』は下巻に収録。

<上演台本>

「班女」「弱法師」NLT上演台本 1965年発行

舞台写真入り。

<プログラム>

近代能楽集 (2001.6-8) ホリプロ公演プログラム 『卒塔婆小町』『弱法師』

バービカン劇場(ロンドン 6/27-30)／彩の国さいたま芸術劇場大ホール(7/12-14)

りゅーとびあ新潟市民芸術文化会館劇場(7/20-21)／シアター・ドラマシティ(大阪 7/25-27)

Bunkamuraシアターコクーン(7/31-8/12)

三島由紀夫 近代能楽集 (1990.11) (財)演劇協会公演プログラム (平成2年度文化庁芸術祭主催公演)

『綾の鼓』『邯鄲』(11/1～12 三百人劇場) 劇団昴制作

『卒塔婆小町』『葵上』(11/3～8 国立劇場)

『道成寺』『班女』(11/6～12 サンシャイン劇場) プロソー・カンパニー制作

『弱法師』『熊野』(11/16～27 三百人劇場) 佐藤正隆事務所制作

三島由紀夫 近代能楽集 (1979.6 国立劇場小劇場)

『邯鄲』串田和美演出／『葵上』高橋三千綱演出／『道成寺』芥川比呂志演出

三島由紀夫特集公演 (1955.7 丸の内・第一生命ホール) 文学座第62回公演プログラム

『葵上』成井市郎演出

三島由紀夫追悼公演 朱雀家の滅亡 (1971.9 朝日生命ホール ほか) 劇団浪漫劇場プログラム

<雑誌>

週刊現代増刊 三島由紀夫緊急特集号 (1970.12) 講談社

1970年11月25日の割腹自殺直後に発行された。

文学界 新年特別号 文藝春秋 1988年発行

「<特別対談>三島由紀夫を遡る」掲載。

<作家関連>

人生のことは 三島由紀夫 芸術の顔 三島由紀夫＝著／川端康成＝監修／番町書房 1967年発行

写真集 三島由紀夫'25～'70 三島瑤子、藤田三男＝編／新潮文庫 2000年発行

三島は常に世間の注目を浴びたその作家生活と活動を通じて、少なからぬ写真家たちの被写体であり続けた。劇的なほどに真摯な四五年を写真の数々で鮮烈に再検証する。

劇人三島由紀夫 堂本正樹＝著／劇書房 1994年発行

自死という幕切れに向かって生きた激する人・三島由紀夫の謎に迫る、書き下ろし評論。『近代能楽集』についても詳述。

三島由紀夫の演劇 幕切れの思想 堂本正樹＝著／劇書房 1977年発行

三島由紀夫の旧友である劇作家堂本正樹による作品論。劇書房処女出版。

現代劇文学の研究 阿部 到＝著／桜楓社 1986年発行

三島由紀夫を含む5人の作家とその作品論。『近代能楽集』についても記述あり。

新版・三島由紀夫—ある評伝— ジョン・ネイスン＝著／野口武彦＝訳／新潮社 2000年発行

絢爛たる言葉の王国を構築した作家としての三島と、肉体への執着を露わにし、武士道を称揚し、余人には理解できない最期を選んだ行動の人三島と、二つの貌の隔たりは大きく、容易に埋めることができない。J・ネイスンは“死へのエロティックな渴仰”の視点から、神話と誤解に塗り固められた三島像を打ち砕くべく鑿を揮う。

三島由紀夫に関する資料は他にも多数ございます。詳しくはお問合せください。

<前田司郎 小説>

誰かが手を、握っているような気がしてならない 講談社 2008年発行

神の声が聴こえる娘と、その家族を描く著者初の長編小説。

グレート生活アドベンチャー 新潮社 2007年発行

さしあたって悩みも不安も、仕事もない。愛と明るい未来は「無」から始まる。芥川賞ノミネート作品の表題作のほか、書き下ろし作品『ゆっくり消える。記憶の幽霊』を収録。

愛でもない青春でもない旅立たない 講談社 2005年発行

この小説は、恋愛小説かもしれないし、純文学かもしれない。そうでないかもしれない。ここにあるのはいわゆる青春ではない、しかし、まぎれもない青春小説だ。野間文芸新人賞ノミネート作品。

<深津篤史 戯曲>

うちやまつり 白水社 1998年発行

関西にある高層団地で連続殺人事件が発生した。犯人はこの団地の住人と噂されている。お正月の穏やかな午後、隠された真実が次第に暴かれていく。第42回岸田国史戯曲賞受賞作品。

八時半通信別冊 LEAF Vol.1 1995年発行 深津篤史戯曲『海が私を嫌っている』収録。

八時半通信別冊 LEAF Vol.7 1998年発行 深津篤史戯曲『のたり、のたり』収録。

公演記録映像

屋上庭園／動員挿話 (2005.11.11) 七瀬なつみ、神野三鈴、小林隆、山路和弘 ほか